大船渡市スポーツ推進計画　施策・事業評価シート（令和７年度）

基本方針１	生涯にわたるスポーツの推進

１　基本施策（計画登載事項）

基本施策	⑴ 子どもの体力づくり	・ 幼児期における運動機会の創出と運動習慣の定着化。 ・ 小中学校における楽しんで運動に取り組めるような魅力ある授業づくりの推進。 ・ スポーツ少年団活動や部活動による、スポーツの楽しさや喜びなどの精神的充足、自主性や協調性の涵養と運動習慣の定着化。
	⑵ 働き手世代のスポーツ機会の拡充	・ それぞれの年代に合わせたスポーツ機会の創出、充実を図るとともに、イベント情報などを積極的に提供。 ・ スポーツ教室やイベントを開催し、生活習慣病予防を促進。
	⑶ 高齢者・障がい者スポーツの推進	・ 関係団体と連携しながら、スポーツ機会の拡大やスポーツを通じた交流機会の拡充。 ・ 高齢者の体力づくりや生きがいづくりによる健康寿命の延伸。
	⑷ 競技力の向上	・ 関係団体と協力したスポーツクリニックの開催などにより、一流選手に触れる機会を提供し、選手の意識と競技力を向上。 ・ 合宿誘致による市内中高生との合同練習や試合を通して、競技力を向上。

２　基本施策の進捗状況・実績

No	基本施策・主な事業	進捗状況・実績	評価・課題
⑴	子どもの体力づくり ・スポーツ教室開催事業 ・スポーツ少年団活動支援事業 ・スポーツ少年団運動適性テスト測定会	**【市スポーツ協会】** ・ 子どもたちを対象に、４教室７種目のスポーツ教室と全10回のキッズチャレンジを開催し、118人参加。スポーツに触れる機会を提供した。＜Ｒ６：スポーツ教室５教室８種目110人、ジュニアスポーツ塾25人参加＞ ・ 市内のスポーツ少年団の活動支援のため、登録団体に運営費を助成した。 ＜Ｒ７：40団体／762千円　Ｒ６：44団体／842千円＞ **【こども家庭センター】** ・ 公立こども園３園で、年中及び年長児を対象にスポーツ教室を年２回ずつ開催した。 **【学校教育課】** ・ 部活動の在り方に関する検討委員会を２回開催。「休日の運動部の部活動」の地域展開を先行実施し、体制を整えた。	**評価** スポーツ教室やスポーツ少年団への活動支援等により、子どもたちがスポーツに親しむ機会が確保されている。 また、部活動の地域展開が一部開始したことにより、スポーツ環境の整備に向けた取組が進められている。 **課題** 子どもたちに継続的な運動機会を提供するとともに、運動習慣の定着状況を把握する必要がある。
⑵	働き手世代のスポーツ機会の拡充 ・学校体育施設開放事業 ・市民体力測定会 ・ファミリーウォーキング	**【生涯学習課】** ・ スポーツ施設及び学校体育施設をスポーツの場として提供することで、スポーツの機会を確保した。（学校開放：15校） **【市スポーツ協会】** ・ 健康の保持増進や体力向上を図るため、市民体力測定会を開催した。 ・ ５種目のスポーツ教室と親子参加型イベント「ファミリーウォーキング」を開催し、世代間の交流を促進した。 ＜Ｒ７：58人参加　Ｒ６：89人参加＞	**評価** スポーツ施設及び学校体育施設の開放、ファミリーウォーキング等の開催により、スポーツに参加する機会が確保されている。 **課題** 働き手世代を中心としたスポーツ参加機会の創出と、参加を促すための効果的な情報発信が必要である。
⑶	高齢者・障がい者スポーツの推進	**【生涯学習課】** ・ 岩手県障がい者スポーツ協会と連携し、卓球バレー及びボッチャ大会（大船渡さんまカップ）を開催し、スポーツを通じた交流機会を創出した。 **【地域福祉課】** ・ ７月に気仙地区身体障がい者スポーツ交流会を開催した。＜Ｒ７：43人参加　Ｒ６：50人参加＞ ・ 11月に太陽の子等のつどい（知的障がい者・児とその家族を対象とした交流会）を開催した。 ＜Ｒ７：106人参加　Ｒ６：感染症拡大により開催見送り＞ **【中央公民館】** ・ 市内11地区で実施する高齢者対象の生きがいセミナー及び地区連携講座において、ニュースポーツを計13回実施した。 **【長寿社会課】** ・ 大船渡市老人クラブ連合会主催の各種スポーツ大会の開催を支援した。 ＜Ｒ７：５回／延べ552人参加　Ｒ６：５回／延べ620人参加＞ **【健康推進課】** ・ 健康づくり推進員と連携して、地域公民館等で健康教室を開催したほか、ウォーキングマップがない４地区のマップを作成し、市ＨＰに公開した。 ・ 健康づくり座談会を開催し、運動実践指導士を講師とした骨粗しょう症予防に関する運動や講話を実施した。 ＜Ｒ７：１回／22人参加　Ｒ６：２回／64人参加＞ ・ 令和６年度特定健康診査受診者を対象に、メタボ予防を目的とした「からだスッキリ教室」として、筋トレやストレッチを実施した。＜Ｒ７：25回／延べ144人参加＞※令和７年度初開催 **【地域包括ケア推進室】** ・ 地域の高齢者交流サロンにおいて、ストレッチ、筋トレ、３Ｂ体操等のほか、ボッチャ、ノルディックウォーキング、ニュースポーツ（ビーンボウリング・スカットボール・カーリンコン）などを実施した。 ・ 介護予防教室として「体力づくり講座」を開催した。	**評価** 関係団体や庁内関係部署により、障がい者スポーツ大会や高齢者向け講座、介護予防教室等が実施され、高齢者や障がい者のスポーツ・運動や交流の機会、健康づくりや介護予防に取り組む機会が確保されている。 **課題** 高齢者・障がい者のスポーツ・運動機会の継続的な確保と、限られた資源（人員・予算）での効果的な事業展開、健康づくり・介護予防に係る関係部署等との連携に取り組む必要がある。
⑷	競技力の向上 ・全国大会等出場奨励事業 ・体育功労者等顕彰事業 ・スポーツ協会加盟団体活動支援事業 ・選手強化助成事業 ・岩手県民体育大会選手派遣支援事業	**【市スポーツ協会】** ・ 全国大会などに出場する選手又は団体に対し、激励金を交付した。＜Ｒ７：23件／195千円　Ｒ６：19件／250千円＞ ・ 本市の競技団体の発展に貢献又は国民スポーツ大会等で優秀な成績を収めた団体・個人を表彰した。 ＜Ｒ７：３団体／14個人　Ｒ６：６団体／15個人＞ ・ スポーツ協会加盟団体の活動費を助成し、日常的な活動と市民のスポーツ参加を推進した。 ＜Ｒ７：25団体／1,500千円　Ｒ６：25団体／1,500千円＞ ・ 岩手県民体育大会に出場するスポーツ協会加盟団体の選手強化費及び派遣費を助成し、競技力向上と大会参加促進を図った。＜Ｒ７：選手強化費：19団体／570千円、派遣費：20競技／1,991千円＞ ＜Ｒ６：選手強化費：19団体／570千円、派遣費：20競技／1,599千円＞ **【生涯学習課】** ・ 「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助金」を活用した団体がスポーツ合宿を行い、市内チームとの対戦の機会を創出し、競技力の向上を図った。 ＜Ｒ７：３団体／延べ宿泊者182人／364千円交付　Ｒ６：２団体／延べ宿泊者118人／236千円交付＞ ・ 大船渡アスリート応援団事業として、９人制実業団バレーボールチーム「デンソーテンレッドフェニックス」によるバレーボール教室を開催し、子どもたちの競技力向上を図った。＜Ｒ７：66人参加　Ｒ６：50人参加 ＞ ・ 佐々木朗希選手のＭＬＢワールドシリーズ参戦に合わせ、11月１日～２日にパブリックビューイングを開催し、応援に留まらず、世界トップレベルのプレーに触れる機会を提供した。 **【学校教育課】** ・ 中学校の部活動における専門的な指導機会の提供と、「地域展開」後の指導者となり得る人材を確保するため、運動部の部活動指導員８人を２校（一中、東朋中）に配置した。 ・ 児童生徒に知識技能の向上の機会を与え、体育活動の充実と振興を図るため、気仙管外で開催される岩手県大会以上の大会出場に要した経費（移動費、宿泊費）を予算の範囲内で補助した。	**評価** 全国大会等への出場奨励金、トップレベルアスリート等によるスポーツ教室、部活動指導員の配置等により、競技者が専門的な指導や高い競技レベルに触れる機会が確保され、競技力向上を支える環境づくりが進んでいる。 **課題** 競技力向上につながる対戦・交流、指導機会の確保と取組効果の把握のほか、持続可能な指導・活動体制の構築に引き続き取り組む必要がある。

３　指標達成状況と進捗度評価

指　標	単位	基準値	実績値						目標値		達成率	達成率
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5	R10	(R7/R10)	区分
日頃から継続してスポーツを行っている市民の割合	%	15.5	15.2	13.5	14.2	13.2	15.6	13.2	17.0	19.0	69.5	c
市内スポーツ施設の利用者総数	人	276,006	209,345	226,638	236,994	219,367	198,840	194,597	260,500	245,000	79.4	b

※達成率＝R7実績値／R10目標値×100。達成率区分＝a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

進捗度評価
B

４　施策・事業の方向性

【基本施策】	【方向性】
⑴ 子どもの体力づくり	・ 少子化の進行やニーズの多様化に加え、部活動の地域展開などスポーツ活動の環境変化が進んでいることから、スポーツ教室の開催やスポーツ少年団等の活動支援等を通じて、継続的な運動機会の提供と運動習慣の定着を図る。
⑵ 働き手世代のスポーツ機会の拡充	・ 働き手世代がスポーツに参加する機会を得られるようにするため、スポーツイベント等の充実を図るとともに、スポーツイベントや施設の利用方法等の情報が行き届くよう、ＳＮＳの積極的な活用によるターゲットを明確にした効果的な情報発信を図る。
⑶ 高齢者・障がい者スポーツの推進	・ 限られた資源で最大の効果を上げるため、スポーツ活動やイベントの関係者間で連携したイベントの合同開催など実施方法を工夫し、参加・交流機会の維持・拡充のほか、参加意欲の向上を図る。 ・ 生活習慣病予防など、生活の中での運動習慣の定着を図るため、健康推進や介護予防の部署と連携を深め、市民の健康づくりに関する事業を展開する。
⑷ 競技力の向上	・ 合宿誘致を強化し、市内小中高生の合宿チームと対戦・交流する機会を創出することにより、競技に取り組む意識・意欲の向上を図り、競技人口の減少抑止に取り組む。 ・ 大船渡アスリート応援団の取組等を通じて、トップアスリートの技術や指導等に触れる機会を提供するとともに、取組の効果を把握し、競技力向上につなげる。 ・ 各競技団体等と連携を深め、指導者確保に向けた講習会受講支援と、持続可能な受け皿体制の構築を一体的に推進する。

大船渡市スポーツ推進計画　施策・事業評価シート（令和７年度）

基本方針２	スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進

１　基本施策（計画登載事項）

基本施策	**⑴ スポーツによる交流の促進**	・ 市民体育大会など市民がスポーツに親しむ機会の創出を図り、市民間の交流機会の拡充を促進。 ・ 大船渡市スポーツ交流推進連絡会議などとの横断的な連携を図り、合宿、イベントの誘致を進め、地域経済の活性化とにぎわいを創出。 ・ ＢＭＸや３ｘ３バスケットボールなどのアーバンスポーツを積極的に取り入れたスポーツイベントの開催と支援。 ・ いわてスポーツコミッションなどとの連携によるスポーツアクティビティを通じた地域活性化の推進。
	⑵ 地域でのスポーツ活動の推進	・ 東日本大震災により在り方が大きく変化した地域コミュニティに対し、レクリエーション等のイベントを通じ、新たなコミュニティの形成を支援。 ・ スポーツ推進委員の派遣により、地域における自発的なスポーツ・レクリエーション活動を促進。
	⑶ 近隣自治体等との連携	・ 新たな大会などの誘致に向けた近隣自治体との連絡体制の構築。 ・ 利用者ニーズや利用形態に合わせた施設の補完・相互利用を促進。 ・ スポーツに関する様々な情報を幅広く提供できるよう、関係団体などと連携。

２　基本施策の進捗状況・実績

No	基本施策・主な事業	進捗状況・実績	評価・課題
⑴	スポーツによる交流の促進 ・市民体育大会 ・高齢者スポーツ交流大会 ・スポーツ少年団交流大会 ・ニュースポーツ・フェスティバル ・大船渡新春ロードレース大会 ・大船渡ポートサイドバレーボール大会 ・大船渡アスリート応援団事業	**【市スポーツ協会】** ・ 市民体育大会を開催し、競技力の向上とともに参加者の交流促進を図った。 ＜Ｒ７：13種目／延べ749人参加　Ｒ６：15種目／1,045人参加＞ ・ 高齢者スポーツ交流大会の開催により、ニュースポーツを通じた高齢者の交流を促進した。 ＜Ｒ７：35人参加　Ｒ６：56人参加＞ ・ スポーツ少年団交流大会を開催し各団体間の交流を推進した。 ＜Ｒ７：６チーム／105人参加　令和６年度：７チーム／150人参加＞ ・ ニュースポーツ・フェスティバルを開催し、競技の普及を推進した。 ＜Ｒ７：６種目／72人参加　Ｒ６：７種目／87人参加＞ ・ 大船渡新春ロードレース大会を開催し，ランナーの交流と地域の活性化を図った。 ＜Ｒ７：1,133人参加　Ｒ６：1,384人参加＞ ・ 大船渡ポートサイドバレーボール大会を開催し、県内スポーツ少年団の交流を促進した。 ＜Ｒ７：30チーム／266人参加　Ｒ６：36チーム／360人参加＞ **【生涯学習課】** ・ 岩手県障がい者スポーツ協会と連携して、卓球バレー及びボッチャ大会（大船渡さんまカップ）を開催し、スポーツを通じた交流機会を創出した。（再掲） ・ 大船渡アスリート応援団の活動を通じて、ＪＲ盛岡硬式野球部の野球教室や、プレス工業陸上部所属の熊谷真澄選手の陸上教室など、公認アスリートとの交流や各種教室を開催し、子どもたちの競技力向上を図った。 ＜野球教室：32人　陸上教室：16人参加＞ ・ 「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助金」を活用して、市外の３団体がスポーツ合宿を行った。 ＜Ｒ７：３団体／延べ宿泊者182人／364千円交付　Ｒ６：２団体／延べ宿泊者118人／236千円交付＞ **【全日本ＢＭＸ連盟】** ・ 三陸ＢＭＸスタジアムにおいて、ＪＢＭＸＦ大東建託シリーズ第９戦岩手大会を開催した。 ＜出場者115人／来場者512人／関係者72人＞ **【合同会社ＴＸＦ】** ・ ＢＭＸ及びスケートボードの合宿、ローカル大会を開催した。＜大会開催３回、大会参加者145人、合宿１回76人＞ **【㈱三陸アクティブ】** ・ 甫嶺復興交流推進センターを拠点として、ＢＭＸ体験を実施した。 ＜三陸ＢＭＸスタジアム来場者15,656人／体験観光全体数545人＞	**評価** 市民体育大会や各種スポーツイベント等により、市内外の幅広い世代がスポーツを通じて交流する機会が確保されている。 また、スポーツ合宿やＢＭＸ等を通じ、市外からの来訪機会が生まれている。 **課題** 交流人口の拡大に向けたスポーツイベント等の充実や、当市ならではの強みを生かした戦略的なスポーツ合宿の誘致促進のほか、既存大会の魅力向上に向けた実施内容の見直しが必要である。 また、ＢＭＸなどスポーツ・アクティビティの取組を通じた交流の機会創出に取り組む必要がある。
⑵	地域でのスポーツ活動の推進 ・スポーツ推進委員設置運営事業 ・地域公民館対抗卓球大会	**【生涯学習課】** ・ 高齢者スポーツ交流会などのスポーツイベントに大船渡市スポーツ推進委員を派遣し、実技指導や大会運営を支援した。 ＜Ｒ７：７件／延べ49人参加　Ｒ６：６件／延べ58人参加＞ **【市スポーツ協会】** ・ 地域公民館対抗卓球大会を開催し、連帯感の醸成や地域間の交流促進を図った。＜Ｒ７：44人参加　Ｒ６：35人参加＞ **【市民協働課】** ・ 「地区づくり計画」に基づくスポーツレクリエーション活動を支援するため、７つの地区運営組織に地区づくり補助金を交付した。	**評価** スポーツ推進委員の派遣や地域公民館対抗卓球大会、地区運営組織への支援等により、地域住民がスポーツ・レクリエーションに参加し、交流する機会が確保されている。 **課題** 地域のニーズを踏まえたスポーツ・レクリエーション活動への継続的な支援が必要である。
⑶	近隣自治体等との連携	**【市スポーツ協会】** ・ 大船渡ポートサイドバレーボール大会では、効率的な大会運営を図るため、大船渡市民体育館と陸前高田市「総合交流センター（夢アリーナたかた）」を会場として実施した。 **【生涯学習課】** ・ 自治体間のスポーツ施設の相互利用を図るため、「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助金」を活用した合宿誘致を行った。	**評価** 近隣自治体のスポーツ施設の活用や住田町と連携したスポーツ合宿支援事業により、施設の相互利用や広域的なスポーツ事業の取組が進んでいる。 **課題** 近隣自治体との連携強化によるスポーツ合宿の誘致や施設の相互利用の更なる推進のほか、新たな大会誘致に向けた連携体制を構築していく必要がある。

３　指標達成状況と進捗度評価

指　標	単位	基準値	実績値						目標値		達成率 (R7/R10)	達成率区分
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5	R10		
大船渡新春ロードレース大会の参加者数	人	1,656	大会中止	大会中止	1,125	1,082	1,117	1,133	1,700	1,800	62.9	c
スポーツ合宿支援補助金の対象団体数、延べ人数	団体	0	3	1	2	2	2	3	3	5	60.0	c
	人	0	404	106	390	176	118	182	60	250	72.8	b

進捗度評価
C

※達成率＝R7実績値／R10目標値×100。達成率区分＝a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和２年度及び令和３年度の大船渡市新春四大マラソンを中止した。

※令和２年度及び令和４年度におけるスポーツ合宿支援補助金の延べ宿泊者数の増加は、新型コロナウイルス感染症に伴う岩手県独自の緊急事態宣言により県外への移動が制限されたため、例年は県外で合宿を行っていた盛岡中央高等学校野球部が大船渡市営球場を拠点に合宿を実施したことが主な要因である。

※令和６年度、専修大学北上高等学校女子サッカー部（延べ120人）が合宿を予定していたが、大規模林野火災により中止となった。

４　施策・事業の方向性

【基本施策】	【方向性】
⑴ スポーツによる交流の促進	・ 競技人口が減少する中で、交流人口拡大のため、大船渡新春ロードレース大会などの各種スポーツイベントの実施内容について、ブラッシュアップを図る。 ・ スポーツを通じた交流人口の拡大に向け、当市ゆかりのアスリートとの交流イベント等への市内外からの参加を促すとともに、イベントを通じて当市の魅力を発信し、来訪・交流機会の創出を図る。 ・ 交流人口の拡大と、来訪したチームとの対戦機会の創出による市内中高生の競技力向上に資する取組として、住田町と連携のうえで「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助金事業」を実施し、ターゲット層を明確にしたプロモーションを展開しながら合宿誘致を促進する。 ・ 三陸ＢＭＸスタジアム運営事業者が主体となり、ＪＢＭＸＦの開催誘致を進めるとともに、ＢＭＸ及びスケートボードの合宿やローカル大会の実施を支援するほか、スポーツ・アクティビティに関わる体験プログラムの掘り起こしと積極的なＰＲ活動により、当市への滞在・消費を促す取組を推進する。
⑵ 地域でのスポーツ活動の推進	・ 地域でのスポーツ活動のニーズ把握に努め、スポーツ推進委員の派遣のほか、地区づくり中間支援事業者等と連携しながら、スポーツ・レクリエーション活動を促進するための支援を実施する。
⑶ 近隣自治体等との連携	・ スポーツ合宿の誘致、施設の相互利用の取組を強化するとともに、新たな大会の誘致に向けた近隣自治体との連携体制の構築を図る。

大船渡市スポーツ推進計画　施策・事業評価シート（令和７年度）

基本方針３	市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実

１　基本施策（計画登載事項）

基本施策	⑴ スポーツを「ささえる」人材の育成・充実	・ 大船渡市スポーツ協会と連携し、指導者養成講習会などへの参加を促進しながら、指導者の育成・充実を図る体制の強化。 ・ 大船渡市スポーツ推進委員の資質向上を目的とした各種研修会等への派遣。 ・ 関係団体と連携し、高齢者や障がい者などの支援を必要とする人々のスポーツ推進体制を整備。 ・ 講習会への参加促進を通じて、障がい者スポーツを支える指導者・ボランティアを育成。
	⑵ スポーツ施設・設備の整備・充実	・ 人口減少や利用ニーズ、財政状況などを踏まえながら、施設・設備を計画的に整備。 ・ 既存施設は長寿命化を基本とし、計画的に修繕・改修を行うとともに、更新に当たっては必要性や将来にわたる財政負担を十分考慮して検討。 ・ 国の支援制度などを活用し、バリアフリー化など計画的に整備。
	⑶ スポーツ施設等の有効活用	・ スポーツ施設の利用者増加や効果的な運営が行われるよう、指定管理者との連携を強化。 ・ 受益と負担のバランスを考慮した施設利用料の定期的な見直し。 ・ 学校施設の利用促進と、閉校となった学校体育施設の有効活用について、地区や地域住民などと検討。
	⑷ スポーツにおけるＤＸの推進	・ 誰もが気軽にスポーツにアクセスできるよう、デジタル技術を活用した新たなスポーツの取組の推進。 ・ データ分析による先進的・効率的なトレーニングなど、様々なスポーツ活動においてデジタル技術の活用の推進。

２　基本施策の進捗状況・実績

No	基本施策・主な事業	進捗状況・実績	評価・課題
(1)	スポーツを「ささえる」人材の育成・充実 ・認定指導者助成事業 ・スポーツ少年団指導者研修会開催事業 ・スポーツ推進委員研修会派遣事業	【市スポーツ協会】 ・ スポーツ少年団活動の活性化を図るため、スポーツ少年団スタートコーチ資格取得者の受講料を助成した。 ＜Ｒ７：16人／48千円　Ｒ６：14人／42千円＞ ・ スポーツ少年団の指導者や育成会を対象に、体力づくりやトレーニング等に関する研修会を開催し、指導に必要な知識の習得を支援した。＜Ｒ７：52人参加　Ｒ６：25人参加＞ 【生涯学習課】 ・ 大船渡市スポーツ推進委員が、岩手県スポーツ推進委員研修会及び東北地区スポーツ推進委員研修会に参加し、専門的な知識と技能を習得した。＜Ｒ７：延べ15人参加　Ｒ６：延べ18人参加＞	評価 資格取得支援や研修会等により、スポーツを「ささえる」人材が指導に必要な知識・技能を学ぶ機会が確保され、人材育成を支える取組が継続されている。 課題 各競技団体等における指導者の確保と、育成した人材が地域で活動する機会や支援体制の充実を図る必要がある。
(2)	スポーツ施設・設備の整備・充実 ・スポーツ施設整備事業	【生涯学習課】 ・ 令和６年度に行った大船渡市スポーツ施設整備基本計画の中間見直しを踏まえ、主要施設の整備について検討を進めた。 ・ 大船渡市民体育館２階トイレ改修工事の設計を実施した。工事は入札が不落となり、令和８年度に繰り越した。	評価 主要な施設整備の検討が進んだが、基本計画の後期期間に向けて、老朽化などの現状に応じた適切な修繕・改修に取り組む必要がある。 課題 スポーツ施設の利便性や機能性の向上を図るとともに、計画的な修繕・改修を進める必要がある。
(3)	スポーツ施設等の有効活用	【生涯学習課】 ・ スポーツ施設の管理・運営と併せて、新春ロードレース大会とポートサイドバレーボール大会の経費も指定管理料に含め、事業実施体制の効率化を図った。 【市民協働課】 ・ 旧末崎中、旧日頃市中及び旧吉浜中の屋内運動場と屋外運動場について、スポーツ活動等を行う施設として条例等を整備し、運用を開始した。 【学校教育課】 ・ 閉校（旧蛸ノ浦小、旧日頃市中、旧綾里中、旧越喜来中、旧吉浜中）となった学校施設（グラウンド、屋内運動場）の一時的な利用希望者に対し、利用に支障がないことを確認の上、貸し出すとともに、維持管理を行った。 ・ 令和８年度に向け、教育施設で利用している旧日頃市中以外を行政財産の用途に応じて移管を行い（財政課：旧蛸ノ浦小、旧綾里中、旧越喜来中、市民協働課：旧末崎中、旧吉浜中）、条例を整備のうえ、住民等への貸し出し事務を市民協働課とした。	評価 スポーツ施設の管理・運営と大会運営を指定管理業務の中で一体的に実施する体制が整えられている。 また、閉校した学校体育施設について、条例等の整備や所管部署の整理により、スポーツ活動等への利活用が進んでいる。 課題 指定管理者との連携によるスポーツ施設の効果的な運営が求められる。 また、閉校した学校体育施設の利活用を推進し、当該施設を含む既存スポーツ施設の適正配置について検討を進める必要がある。
(4)	スポーツにおけるＤＸの推進	【生涯学習課】 ・ 大船渡アスリート応援団の取組やスポーツイベントについて、ＳＮＳを活用して周知を図り、効果的な情報発信に努めた。 【商工企業課】 ・ 地域おこし協力隊として「デジタルの利活用促進」をテーマに活動する隊員が、市内の高校陸上部等を対象に、デジタルツールを活用した運動能力向上支援（運動教室）を実施した。（運動能力向上支援：99回） ・ 同隊員において、著名人を講師に招き、運動能力向上と併せて、市内外の住民に向けたデジタルツールやデータ分析手法などを広めるイベントを開催した。（イベント回数：２回（６月、８月）） 【学校教育課】 ・ 閉校（旧蛸ノ浦小、旧日頃市中、旧綾里中、旧越喜来中、旧吉浜中）となった学校施設（グラウンド、屋内運動場）の一時的な利用希望者に対し、利用に支障がないことを確認の上、貸し出すとともに、維持管理を行った。	評価 ＳＮＳによる情報発信やデジタルツールを活用した運動教室等が実施され、スポーツ分野におけるデジタル技術の活用・周知が進んでいる。 課題 デジタル技術を活用した新たなスポーツの取組を促進する必要がある。

３　指標達成状況と進捗度評価

指　標	単位	基準値	実績値						目標値		達成率	達成率区分
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R5	R10	(R7/R10)	
市が主催するスポーツ指導者講習会の参加者数	人	30	0	24	24	25	25	26	35	40	65.0	c
スポーツ施設利用の満足度	%	19.0	18.7	23.3	20.6	24.4	24.0	26.4	21.0	23.0	114.8	a

※達成率＝R7実績値／R10目標値×100。達成率区分＝a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

進捗度評価
B

４　施策・事業の方向性

基本施策	【方向性】
⑴ スポーツを「ささえる」人材の育成・充実	・ スポーツを取り巻く環境の変化に伴い、部活動やスポーツ少年団をはじめ、スポーツに取り組む各団体においては、指導者や活動機会の確保等が課題とされている。各競技協会との連携強化による指導者の確保に加え、スポーツ推進委員の派遣などを通じて、育成した人材が地域で活動する機会の確保と支援体制の充実を図る。
⑵ スポーツ施設・設備の整備・充実	・ 市スポーツ施設整備基本計画の中間見直しを踏まえ、施設の長寿命化を基本としながら、利便性や機能性の向上に向けた計画的な修繕・改修を進めるとともに、人口動態や財政状況を考慮し、集約化や複合化、廃止等も含めた中・長期的な施設マネジメントを推進する。
⑶ スポーツ施設等の有効活用	・ 指定管理業務について、コスト意識の更なる醸成のほか、利用者ニーズに即した業務の推進を図るため、より密接な連携に努める。 ・ 閉校施設利活用方針と廃止公共施設等の利活用方針との整合を図りつつ、将来的な財政負担の平準化を見据え、既存スポーツ施設の適正配置を検討するとともに、施設の適正な維持管理・利活用を推進する。
⑷ スポーツにおけるＤＸの推進	・ デジタルツールやデータ分析手法など、スポーツにおけるデジタル技術の利活用を促進していく。